BUFFALO

USB&IEEE1394 接続ハードディスク

# HD-HSIU2 シリーズ

## ユーザーズマニュアル



Q&A インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

# 本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

## 表記上の約束

**注意マーク** ................. ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

**次の動作マーク** ......... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

## 文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　C: ハードディスク　　　　　D:CD-ROM ドライブ

・「IEEE1394」、「i.LINK」、「FireWire」は同じインターフェースです。本書では、「i.LINK」と「FireWire」を「IEEE1394」表記しています。

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ $1000^3$byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ $1024^3$byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

・本書では、Micrsoft Windows Millennium Edition を WindowsMe、Windows98 Second Edition を Windows98SE と表記しています。

# 目次

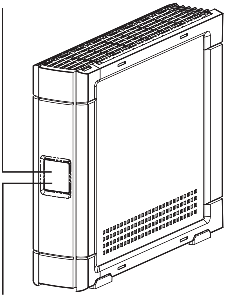
# 1 はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

## 各部の名称

### ● 前面

パワーランプ（緑色）
ハードディスクが動作可能なとき
に点灯します。



アクセスランプ
アクセス時に点灯します。
USB2.0 接続時： 赤色
USB1.1 接続時： 緑色
IEEE1394 接続時： オレンジ色

### ● 背面

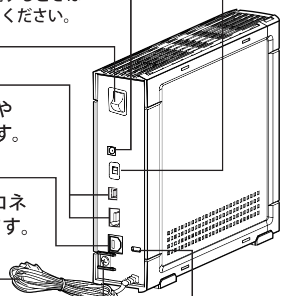
オプションファン用 DC コネクタ
オプションファン「OP-FAN」（別売または付属）を接続できます。出荷時はキャップがしてありますので、オプションファンを接続するときはキャップを取り外してから接続してください。

AUTO 電源機能切替スイッチ

電源スイッチ

IEEE1394 コネクタ
パソコンの IEEE1394 コネクタや他の IEEE1394 機器に接続します。

USB コネクタ（シリーズ B）
パソコンや USB ハブの USB コネクタ（シリーズ A）に接続します。



電源ケーブル

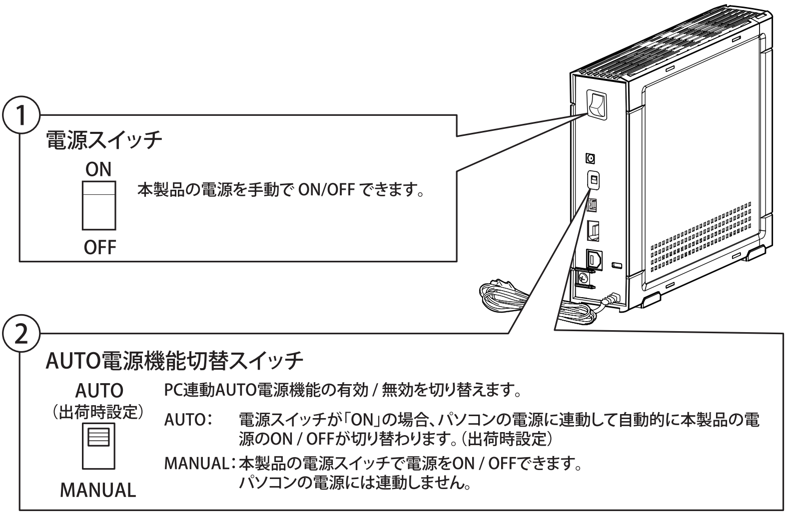
フレームグランド
※別途アース線を用意し、接続してください。

セキュリティスロット

付属品の確認は別紙の「はじめにお読みください」を参照してください。

# 電源の ON/OFF

本製品の電源は、「PC 連動 AUTO 電源機能 」によってパソコン本体の電源 ON/OFF に合わせて自動で ON/OFF することも、手動で ON/OFF することもできます。
出荷時は、PC 連動 AUTO 電源機能が有効になっています。




**⚠注意 「PC 連動 AUTO 電源機能 」使用時の注意**

- **本製品を IEEE1394 で接続している場合、DV カメラなど他の IEEE1394 機器を本製品に接続すると自動的に本製品の電源が ON になり、パソコンの電源には連動しなくなります。この場合は、本製品の電源スイッチを操作して ON/OFF 切り替えしてください。**
- **「AUTO」でお使いの場合、お使いの環境によっては正常に認識しないことやパソコンの電源に連動しないとがあります。この場合は MANUAL にしてお使いください。**
- **パソコンの電源スイッチを OFF にしてから本製品の電源ランプが消えるまでに少し時間がかかることがあります。**
- **AC アダプタ付きの USB ハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチを OFF にしても本製品の電源ランプが消えないことがあります。本製品の電源スイッチを OFF にするか、USB ハブから本製品を取り外してください。**

# 2 セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

## セットアップ

別紙「はじめにお読みください」に記載の手順でセットアップしてください。

## セットアップ時の注意

● **Windows98（Second Edition を除く）を使用しているときは、次の確認を行ってください。**

①［マイ コンピュータ］を右クリックします。

②メニューが表示されたら、［プロパティ］をクリックします。

③［デバイス マネージャ］をクリックします。

④［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］の下に表示されているデバイス名を確認します。




［NEC PCI to USB Open Host Controller］と表示されている場合は、Windows98 System Update をインストールする必要があります。［NEC PCI to USB Open Host Controller］が表示されていない場合は、Windows98 System Update のインストールは不要です。

※ Windows98 System Update は、マイクロソフト社の Windows Update サイト（http://windowsupdate.microsoft.com/）でインストールができます。

**メモ**
- **本製品は、出荷時に FAT32 形式（1 パーティション）で論理フォーマットされていますので、通常は改めてフォーマットする必要はありません。**
- **本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。【P15「フォーマット」】**

● **Windows2000 を使用している場合、セットアップ中に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の［完了］をクリックしてください。**
「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

●本製品のドライバがインストールされると、［デバイス マネージャ］（※）に次のデバイスが追加されます。

※［デバイス マネージャ］は次の方法で表示できます。

Windows Vista ............................... ［スタート］をクリック→［コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら［続行］をクリック→［デバイスマネージャ］をクリック

Windows XP/Server 2003 ............ ［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

Windows 2000 ............................... ［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

Windows Me/98SE/98 .................. ［マイ コンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

- **USB 接続の場合**

| 使用する OS | 追加場所 | 追加デバイス名 |
|---|---|---|
| Windows Vista | ユニバーサル シリアル バス コントローラ | USB 大容量記憶装置 |
| | ディスクドライブ | ユニットドライブ名 |
| WindowsXP/2000/Server 2003 | ディスクドライブ | ドライブユニット名　USB Device |
| | USB(Universal Serial Bus) コントローラ | USB 大容量記憶装置デバイス |
| WindowsMe | ディスクドライブ | ドライブユニット名 |
| | ユニバーサル シリアル バス コントローラ | USB 大容量記憶装置デバイス<br>※緑色に白字で「？」が表示されますが、これは Windows 付属の汎用ドライバがインストールされたためです。本製品は正常に動作していますので、そのままご使用ください。 |
| | 記憶装置 | USB ディスク |
| Windows98SE/98 | ディスクドライブ | ドライブユニット名 |
| | ユニバーサル シリアル バス コントローラ | BUFFALO USB Mass Storage Device |
| | | BUFFALO INC. USB-SATA Bridge |

- **IEEE1394 接続の場合**

| 使用する OS | 追加場所 | 追加デバイス名 |
|---|---|---|
| Windows Vista | ディスクドライブ | BUFFALO INC. HDD IEEE 1394 SBP2 Device |
| | SBP2 準拠 IEEE 1394 デバイス | SBP2 準拠 IEEE 1394 デバイス |
| WindowsXP/Server 2003 | ディスクドライブ | BUFFALO INC.HDD IEEE 1394 SBP2 Device |
| | SBP2 IEEE1394 デバイス | SBP2 準拠 IEEE1394 デバイス |
| Windows2000 | ディスクドライブ | BUFFALO INC.HDD IEEE 1394 SBP2 Device |
| WindowsMe | ディスクドライブ | ドライブユニット名 |
| | SBP2 | SBP2 Compliant IEEE1394 デバイス |
| | 記憶装置 | IEEE 1394 ディスク |
| Windows98SE/98 | ディスクドライブ | ドライブユニット名 |
| | SBP2 | SBP2 Compliant IEEE1394 デバイス |
| | 記憶装置 | 1394/USB ディスク |

● 本製品は、出荷時に FAT32 形式（1 パーティション）で論理フォーマットされています。
Mac OS 9 や Mac OS X 10.3 以前をお使いの場合は、Mac OS 拡張形式で初期化してください。Windows Vista/XP/Server 2003 や Mac OS X 10.4 以降では、そのままお使いになれますが、NTFS 形式や Mac OS 拡張形式でフォーマットすることをお勧めします。Windows Me/98SE/98 をお使いの場合は、そのままお使いください。

● 本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。

# 3 使いかた

## 使用上の注意

⚠注意 **・本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。**
**・本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対に USB ケーブル、IEEE1394 ケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチを OFF にしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。**
**・パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。**

● Mac OS 9 や Mac OS X 10.0.4 ～ 10.3 をご使用の方は、本製品を使用する前に必ずフォーマット（初期化）してください。**【P15】**

● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも USB ケーブル、IEEE1394 ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。**【P12「本製品の取り外しかた」】**

⚠注意 **本製品にアクセスしているとき（アクセスランプが点灯 / 点滅しているとき）は、絶対に USB ケーブル、IEEE1394 ケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。**

● 複数の USB 機器と併用したいときは、弊社製 USB ハブ（別売）などを使用してください。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● Windows や Mac OS 9、Mac OS X 10.3 以前をお使いの場合、本製品に OS をインストールすることができません。Intel 社製 CPU 搭載の Macintosh をお使いの場合、Mac OS X 10.4 以降をインストールできます（Intel 社製 CPU を搭載していない Macintosh では、インストールできません）。

●本製品は、別紙「はじめにお読みください」に記載の向きで設置してください。

⚠注意 **動作中に本製品を移動させたり、設置方向を変えないでください。本製品の破損の原因となります。**

● 本製品に物を立てかけないでください。
転倒して故障する恐れがあります。

● Windows Vista/XP 搭載のパソコンで使用する場合
本製品を USB1.1 準拠の USB コネクタに接続すると、「 高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。（以下略）」と表示されます。そのまま使用する場合は、[ × ] をクリックしてください。

次のページへ続く

**本製品の発熱について**

本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しております。筐体表面が熱くなりますが、異常ではありません。また、PC 連動 AUTO 電源機能を使用していると、電源が OFF の状態でも、待機電流のため少し温かくなります。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。

- **本製品にオプションファン「OP-FAN」が付属している場合は、必ず取り付けてください。**
- **本製品を積み重ねて使用するときは、必ず別売または付属のオプションファン「OP-FAN」を取り付けてください。**
- **本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。**
- **本製品に布などをかぶせないでください。**

● **FAT32 形式のハードディスクに保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。**
本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため、1 ファイルの最大容量が 4GB となります。Windows Vista/XP/2000/Server 2003 や MacOS をお使いの場合には、NTFS 形式や MacOS 拡張フォーマット形式で本製品をフォーマット（初期化）すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

● **WindowsMe/98SE/98 付属のドライブスペース 3 は使用しないでください。**
パソコンの動作が不安定になる恐れがあります。

● **Macintosh でリカバリするときは、本製品を取り外してください。**
取り外さないとリカバリできないことがあります。

● **本製品の動作時 、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが 、異常ではありません 。**

# TurboUSB について（Windows Vista/XP/2000 のみ）

TurboUSB とは、本製品の転送速度を高速化する機能です。本製品の転送速度を高速化したい場合にインストールしてください。

## 注意

- **対応 OS は、Windows Vista/XP/2000 です。**
- **USB2.0 接続のみ対応です。USB1.1 には対応しておりません。**
- **付属ソフト「DiskManager」と同時に使用することはできません。DiskManager を使用するときは、TurboUSB を無効にしてください。**
- **本製品に収録されている TurboUSB は、本製品専用です。他の製品は、有効になりません。また、他の製品に付属の TurboUSB で本製品の転送速度を高速化することはできません。**

## 有効化

以下の手順で有効化してください。

**1 ユーティリティ CD をパソコンにセットします。**

Windows Vista をお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら [DriveNavi.exe の実行 ] をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。その場合は、［続行］をクリックしてください。

**2 [ オプション ] → [TurboUSB を有効化します ] の順にクリックします。**

以降は、画面の指示に従ってインストールしてください。

## 設定方法

[ スタート ]-[（すべての）プログラム ]-[BUFFALO]-[TurboUSB]-[TurboUSB for HD-HSIU2] を実行すると、有効 / 無効を切り替えられます。

**※ 実行できない場合は、「有効化」手順で有効化した後、設定を行ってください。**

## 設定の確認方法

TurboUSB が有効の場合、本製品を取り外すときに表示されるメニューに「TurboUSB」という文字が表示されます（P12 参照）。

## TurboUSB が不要となったら

TurboUSB 機能が不要になった場合は、[ スタート ]-[（すべての）プログラム ]-[BUFFALO]-[TurboUSB]-[ アンインストーラ ] でアンインストールできます。

**※本製品の TurboUSB をアンインストールすると、本製品以外の製品の TurboUSB 機能もアンインストールされます。本製品の TurboUSB 機能を停止させたい場合は、アンインストールせず無効に設定することをお勧めします。**

# IEEE1394 接続時の書き込みに時間がかかる場合は？（Windows Vista/XP/ Server 2003 のみ）

IEEE1394 接続した場合、お使いの環境によっては書き込みに時間がかかることがあります（4GB のファイルをコピーするのに 10 分以上かかることがあります）。この場合、Windows の書き込みキャッシュが無効になっていることがありますので、以下の手順を行ってください。Windows の書き込みキャッシュを有効にし、書き込み時の処理能力を向上させます。

**⚠注意** **以下の手順を行うと、データの一部を書き込みキャッシュに保存し、処理速度を向上させます。そのため、本製品使用時に障害が発生した場合、書き込みキャッシュに保存されていたデータが破損・消失することがあります。本製品を取り外すときは、必ず P12「本製品の取り外しかた」の手順で行ってください。手順を守らないと、データが破損、消失する恐れがあります。また、停電の場合や機器の障害時なども、データが破損・消失する恐れがあります。本製品に保存したデータは、定期的にパソコンなどへバックアップすることをお勧めいたします。**

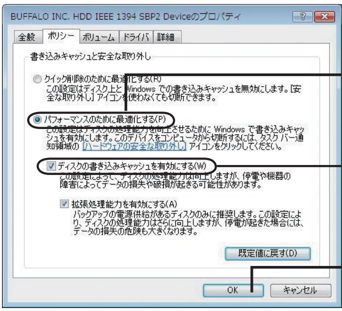
**1　以下の方法でデバイスマネージャを表示します。**

Windows Vista ........................ ［スタート］をクリック→［コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら［続行］をクリック→［デバイスマネージャ］をクリック

Windows XP/Server 2003 .... ［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

**2　「デスクドライブ」の「BUFFALO INC. HDD IEEE 1394 SBP2 Device」を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

**3**




① 「パフォーマンスために最適化する」にチェックします。

② 「ディスクの書き込みキャッシュを有効にする」をチェックします（Windows Vista のみ）。

③ [OK] をクリックします。

**※ 手順②は、Windows Vista のみ選択できます。Windows XP/Server 2003 では手順②を行う必要ありません（表示されません）。**

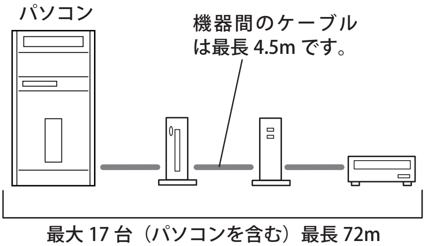
以上で完了です。

# IEEE1394 機器の増設

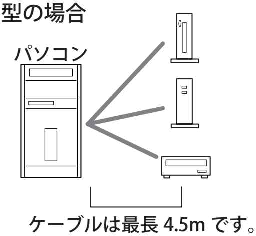
次の図のように接続してください。

**⚠注意　・本製品の電源を切ると、本製品以降に接続されている機器が使用できなくなります。**
**・本製品を USB ケーブルで接続した場合、IEEE1394 機器を本製品に接続することはできません。**

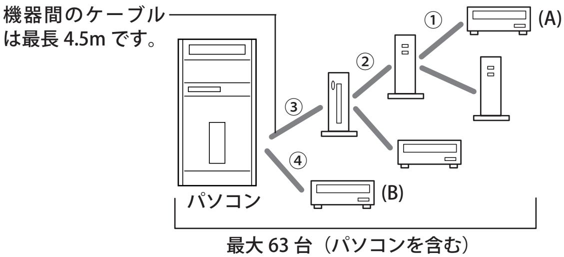
● デイジーチェーンの場合




● スター型の場合



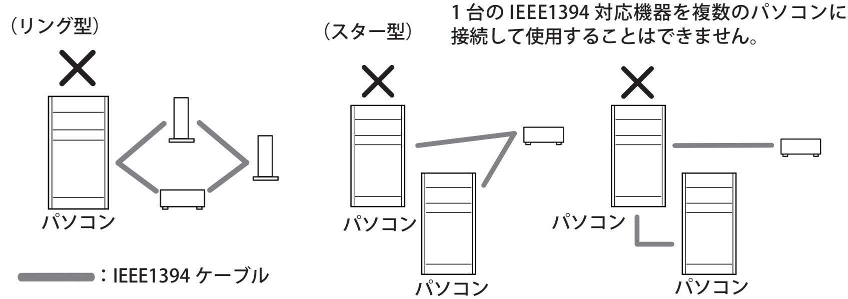

● ツリー型の場合




※ 終端から終端の機器の間に使用できるケーブル数は最大 16 本（16 ホップ）です。
左図の例での終端は (A) と (B) となり、その間のケーブル数は ①～④ の 4 本（4 ホップ）となります。

**⚠注意　次のような接続はできません。**

1 台の IEEE1394 対応機器を複数のパソコンに接続して使用することはできません。




**メモ　Windows98SE の場合、新しく IEEE1394 機器を接続したときに次の画面が表示されることがあります。その場合は、Windows98 Second Edition CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして［OK］をクリックしてください。IEEE1394 ドライバがインストールされます。**




**「Windows98 Second Edition CD-ROM 上の（中略）が見つかりませんでした。」と表示されたときは、［ファイルのコピー元］に E:\WIN98 と入力し、［OK］をクリックします（下線部には CD-ROM ドライブのドライブ名を入力します）。**
**すでに IEEE1394 ドライバがインストール済みのときは、以前インストールしたドライバを使用します。［はい］を数回クリックしてください。**

# 本製品の取り外しかた

パソコンの電源スイッチが ON のときは、次の手順で本製品を取り外します。

メモ パソコンの電源スイッチが OFF の時は、そのまま取り外せます。

## Windows Vista/XP/2000/Server 2003

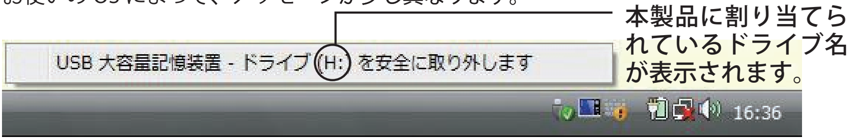
**省電力ユーティリティ for HD をインストールされた場合は、省電力ユーティリティのマニュアルに記載の手順で取り外してください。**
省電力ユーティリティのマニュアルは、DriveNavigator（本製品に保存されている「DriveNavi.exe」をダブルクリックしたときに表示されるメニュー）から表示できます。省電力ユーティリティがインストールされている場合に以下の手順を行うと、エラーメッセージが表示されたり、省電力状態にできないことがあります。

⚠注意 **省電力ユーティリティ for HD をインストールしていないときは、必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。以下の説明では、Windows Vista の画面を例に使用しています。**
NTFS でフォーマットしたパーティションがある場合、以下の手順では取り外しできないことがあります。その場合は、パソコンの電源を OFF にしてから本製品を取り外してください。

**1** **タスクトレイのステータス表示領域に表示されているアイコン（Windows Vista）/（Windows XP/Server 2003）/（Windows 2000）をクリックします。**

**2** **メニューが表示されたら、[USB 大容量記憶装置（デバイス） - ドライブ（X:）を安全に取り外します ] または [BUFALO INC HDD 1394 SBP2 Device - ドライブ (X:) を安全に取り外します ] をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。
お使いの OS によって、メッセージが少し異なります。




⚠注意 **TurboUSB を有効にしているときは、メニューに「TurboUSB」と表示されます。**

**3** **「安全に取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックし、本製品を取り外します。**

メモ Windows XP の場合は、[OK] をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

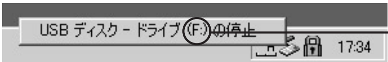
## WindowsMe

⚠注意 **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。**

**1 タスクトレイに表示されているアイコンをクリックします。**

**2 メニューが表示されたら、[USB ディスク - ドライブ (X:) の停止] または [IEEE1394 ディスクードライブ (X:) の停止 ] をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。




本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

**3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックします。**

**4 本製品を取り外します。**

## Windows98SE/98（IEEE1394 接続の場合は Windows98SE のみ）

⚠注意 **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。**

**1 タスクトレイに表示されているアイコン または をクリックします。**

**2 メニューが表示されたら、[ドライブ名（製品によって異なります）- ドライブ (X:) の停止] または [IEEE1394 ディスクードライブ (X:) の停止 ] をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。




本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

**3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックします。**

**4 本製品を取り外します。**

⚠注意 **IEEE1394 機器（本製品を含む）は、必ず終端に接続したものから取り外してください。終端ではない機器を取り外すと、次の警告画面が表示されます。**



## Macintosh

**1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにあるハードディスク（本製品）のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。**

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

**2 本製品を取り外します。**

# 4 フォーマット

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

## ご注意

● **Mac OS 9 や Mac OS X 10.3 以前をお使いの場合は、必ず Mac OS 拡張形式で初期化してください。**

Mac OS 9 や Mac OS X 10.3 以前をお使いの場合は、出荷時状態（FAT32 形式）で使用できません。必ず Mac OS 拡張形式で初期化してください。

● **Windows をお使いの場合は NTFS 形式、Mac OS X 10.4 以降をお使いの場合は Mac OS 拡張形式でフォーマット（初期化）することをお勧めします。**

本製品は、出荷時に FAT32 形式でフォーマットされています。Windows や Mac OS X 10.4 以降をお使いの場合、そのままお使いいただくこともできますが、4GB 以上のファイルを保存できません。Windows と Mac OS X 10.4 以降で併用する場合にのみ、FAT32 形式でお使いください。

● **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。**

ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

● **フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。**

ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

## フォーマットのしかた

使用している OS に応じて、次のページを参照してください。


- Windows Vista/XP/2000/Server 2003 ･･････････････【P16】
- Windows Me/98SE/98 ･･････････････････････････【P20】
- Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 ･･････････････････････････【P22】
- Mac OS X 10.0.4 ～ 10.2.8 ･････････････････････【P23】
- Mac OS X 10.3 以降 ･･･････････････････････････【P25】


次のページへ続く

## Windows Vista/XP/2000/Server 2003

フォーマットするときは、以下の手順で行ってください。

⚠注意 **・本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。**
※ダイナミックディスクについては、Windows のヘルプを参照してください。

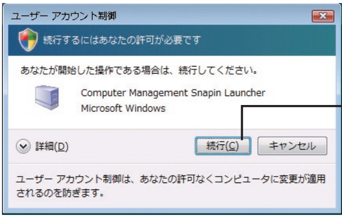
**・ここでは、NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。FAT32 形式でフォーマットするときは、付属の DiskFormatter でフォーマットしてください。詳しい手順は、DiskFormatter のマニュアル（PDF ファイル）を参照してください。**

**1** **パソコンを起動し､コンピュータの管理者権限 (Administrator など ) があるユーザーでログオンします。**

**2** **［スタート］をクリック→［コンピュータ（マイコンピュータ)］を右クリック（Windows 2000 の場合は､デスクトップの [ マイコンピュータ ] を右クリック）し、［管理］をクリックします。**

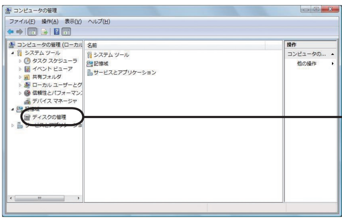
**以下の画面が表示されたら？**

Windows Vista の場合、以下の画面が表示されることがあります。その場合は、［続行］をクリックしてください。



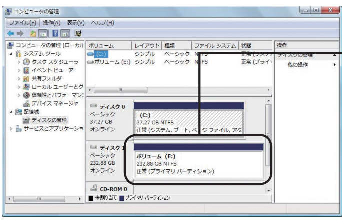

［続行］をクリックします。

**3**



［ディスクの管理］をクリックします。

**4**



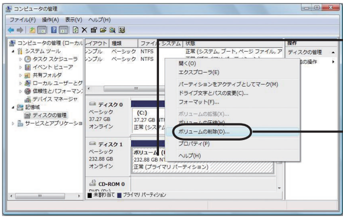
本製品に割り当てられているドライブを確認します。

※ドライブを間違えると、ハードディスク内のデータがすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

⚠注意 **本製品に割り当てられたドライブが「未割り当て」と表示されている場合は、手順 8 へ進んでください。**

次のページへ続く

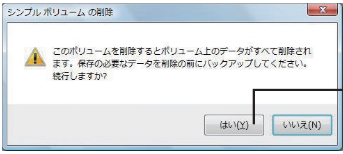
**5**



① 本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

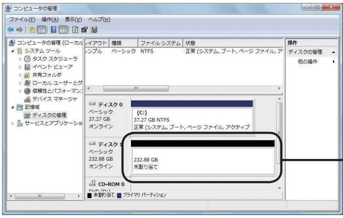
② [ ボリュームの削除 ] をクリックします。

**6**



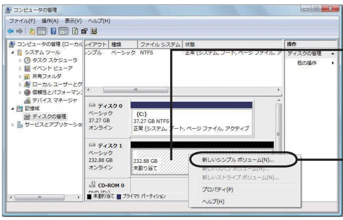

[ はい ] をクリックします。

**7**



未割り当て領域が表示されます。

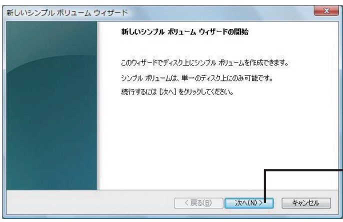
**8**



① 未割り当て領域を右クリックします。

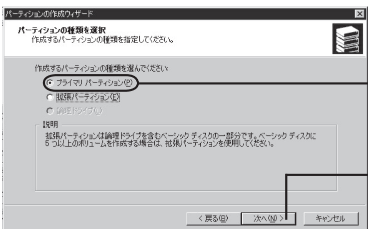
② ［新しいシンプルボリューム］（Windows XP の場合は［新しいパーティション］、Windows 2000 の場合は［パーティションの作成］）をクリックします。

**9**




［次へ］をクリックします。

## 以下の画面が表示されたときは？




① ［プライマリ パーティション］をクリックして（•）を付けます。

② ［次へ］をクリックします。

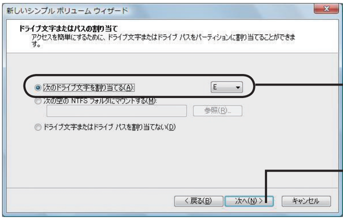
**10**




①［シンプルボリューム サイズ］（［パーティションサイズ］または［使用するディスク領域］）でサイズを指定します。
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

②［次へ］をクリックします。

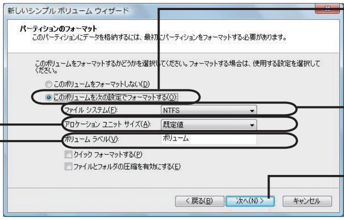
**11**




①［次のドライブ文字を割り当てる］をクリックし、ドライブ文字を指定します。
※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

②［次へ］をクリックします。

**12**




①［このボリューム（パーティション）を次（以下）の設定でフォーマットする］をクリックし、（・）を付けます。

②［NTFS］を選択します。

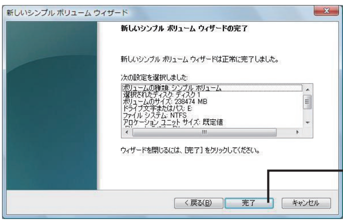
③各項目を設定したら、［次へ］をクリックします。

必要に応じて［ボリュームラベル］を入力します。

［アロケーションユニットサイズ］は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

**⚠注意** **本製品にパーティションが１つも存在しないときは、［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けないでください。チェックマーク（✓）を付けると、フォーマットが正常に終了できないことがあります。**

**13**



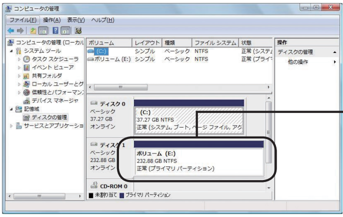

［完了］をクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

**メモ** フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の［フォーマットの中止］をクリックします。

次のページへ続く

**14**




フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて「正常」と表示されます。

### 「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが､フォーマットは完了していません。[OK]をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

**1** 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット］を選択します。

**2** 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し､[OK］をクリックします。

⚠注意 **［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。**

**3** 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 10 でサイズを指定し、以下手順 14 までを作成する数だけ繰り返します。

## Windows Me/98SE/98

**⚠注意 本製品に保存できる 1 ファイルの最大容量は、4GB です（FAT32 形式の制限です）。**

ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。
フォーマットには DISK FORMATTER を使用します。以下の手順でインストールした後、フォーマットしてください。

## ■ DISK FORMATTER をインストールする

**1 本製品に保存されている「DriveNavi.exe」をダブルクリックします。**

Drive Navigator が起動します。

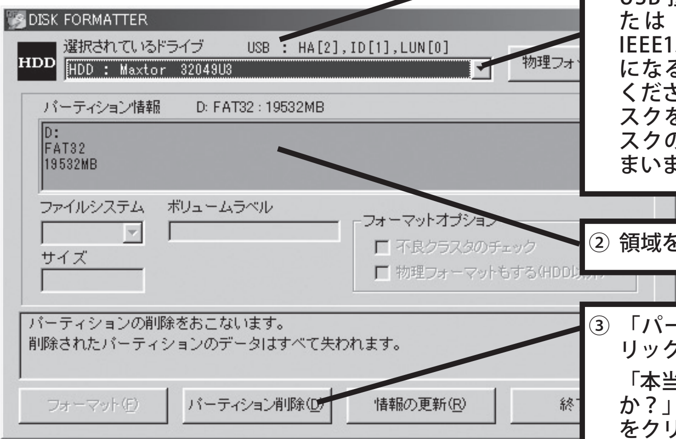
**2 [ かんたんスタート ] → [ ソフトウェアの個別インストール ] の順にクリックし、DiskFormatter にチェックを付けて [ インストール開始 ] をクリックします。**

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

## ■フォーマットする

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［DISK FORMATTER］－［DISK FORMATTER］の順に選択し、Disk Formatter を起動します。




① ▼をクリックし、リストからドライブを選択します。上の表示が「USB」( 本製品を USB 接続している場合 ) または「IEEE1394」( 本製品を IEEE1394 接続している場合 ) になるように気をつけて選択ください。間違ったハードディスクを選択するとハードディスクの中身がすべて消えてしまいます。

② 領域をクリックします。

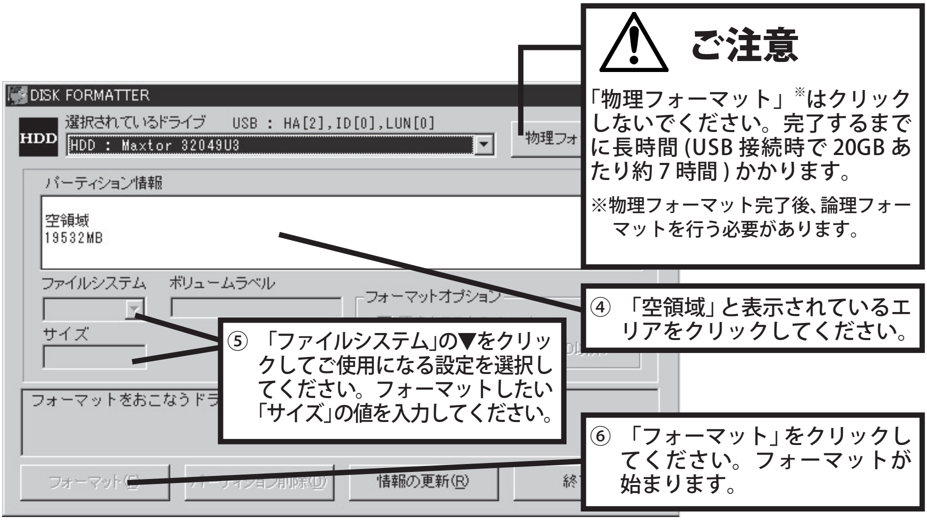
③ 「パーティション削除」をクリックします。

「本当に削除してよろしいですか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

現在のパーティションが削除されます。

パーティション情報に「空領域」が表示されたことを確認してください。「空領域」が表示されたら、次の手順に進みます。

次のページへ続く




「フォーマットは正常に終了しました」と表示されたら、[OK] をクリックし、P12 の手順にて、いったん本製品をパソコンから取り外します。
再度ケーブルを接続すると、フォーマットしたドライブが有効になります。

**⚠注意 137GB を超える容量のハードディスクをお使いの方へ**

**137GB を超える容量のハードディスクを Windows98SE/98 にてご使用の場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します (Windows98SE/98 の仕様です )。スキャンディスクを実行する場合は、1 パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。**

**⚠注意**
- **フォーマットするドライブを間違えないでください。**
- **FAT16 から FAT32 に変換する場合は、本製品をもう一度 FAT32 でフォーマットしてください。OS に付属の「ドライブコンバータ」で FAT16 から FAT32 に変換すると、エラーが発生し、FAT32 に変換できない場合があります。**

メモ
- 2047MB を超える容量を 1 つの領域として確保する場合は、[ファイルシステム] に [FAT32] を選択してください。[FAT16] では、1 つの領域は最大 2047MB となります。
- Disk Formatter に関する詳細は、「Disk Formatter ソフトウェアマニュアル 」(PDF ファイル) を参照してください。

## Mac OS 9.1 ～ 9.2.2

ここでは例として、本製品を MacOS 拡張フォーマットで初期化する手順を説明します。

⚠注意 **・フォーマット（初期化）するときは、必ず Mac OS のマニュアルを参照してください。**
**・Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 では本製品を複数の領域に分けて使用することはできません。**

**1** **[ アップルメニュー ] － [ コントロールパネル ] － [ 機能拡張マネージャ ] をクリックします。**

**2**




① 「File Exchange」の左の [ × ] をクリックし、[ □ ] にします。

② ［再起動］をクリックします。

**3** **パソコンが再起動したら、本製品を接続します。**

**「このディスクは、このコンピュータで読めません。ディスクを初期化しますか？」というメッセージが表示された場合**

ディスクを初期化します。手順 6 へ進んでください。

**4** **デスクトップ上にある本製品のディスクアイコンをクリックして選択します。**

**5** **画面上部にあるメニューバーの［特別］をクリックし、［ディスクの初期化 ] をクリックします。**

**6** **「名前」にドライブ名称を入力し、「フォーマット」に [Mac OS 拡張 ] を選択して［初期化］をクリックします。**

本製品の初期化が始まります。

**7** **[ アップルメニュー ] － [ コントロールパネル ] － [ 機能拡張マネージャ ] をクリックします。**

**8** **「File Exchange」の左の [ □ ] をクリックして [ × ] にし、[ 再起動 ] をクリックします。**

パソコンが再起動します。

以上で初期化は完了です。

## Mac OS X 10.0.4 ～ 10.2.8

Mac OS X の Disk Utility を使ってパーティションを作成し、本製品をフォーマットします。

⚠注意 **・フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。**
**・本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。**

**1** **デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。**

**2** **[Applications] フォルダの中の [Utilities] フォルダを開きます。**

(Mac OS X 10.2 以降の場合は、［アプリケーション］フォルダの中の [ ユーティリティ ] フォルダを開きます。)

**3** **［Disk Utility］をダブルクリックします。**

(Mac OS X 10.2 以降の場合は、［ディスクユーティリティ ] をダブルクリックします。)

**4** Mac OS 10.0.4 の画面




① ［Drive Setup］をクリックします。
② フォーマットするディスクをクリックします。
③ フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

Mac OS X 10.1/10.2 以降の画面




① フォーマットするディスクをクリックします。
② [ 情報 ] をクリックします。
③ フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

※画面は Mac OS X 10.2 の例です。

4 フォーマット

次のページへ続く

## 5 Mac OS X 10.0.4 の画面



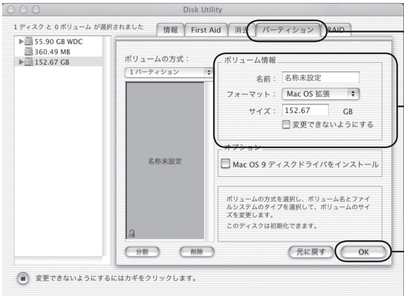

①［パーティション］をクリックします。

②パーティション方式(作成するパーティションの数)を設定します。

③パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

④［パーティション］をクリックします。

Mac OS X 10.1 の画面

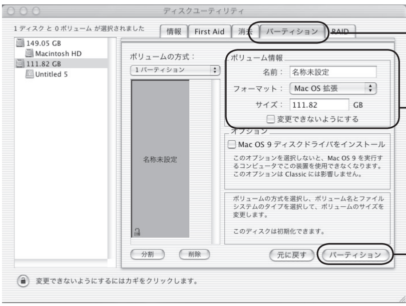



①［パーティション］をクリックします。

②パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

③［OK］をクリックします。

Mac OS X 10.2 以降の画面




①［パーティション］をクリックします。

②パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

③［パーティション］をクリックします。

**※ 設定したパーティションは、すべて一括でフォーマットされます。**
**また、設定方法については、Mac OS のヘルプも参照してください。**

## 6 「（略）この操作は取り消せません。この操作を実行してもよろしいですか？」と表示されたら、[ パーティション ] をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。Disk Utility は終了してください。

# Mac OS X 10.3 以降

Mac OS X のディスクユーティリティを使って本製品をフォーマットするときの手順を説明します。

**⚠注意** **・フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。**
**・本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。**
**・詳しい手順は、Mac OS のヘルプを参照してください。**
**・本書では、Mac OS X 10.4 の画面を例に説明しています。**

**1** **デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。**

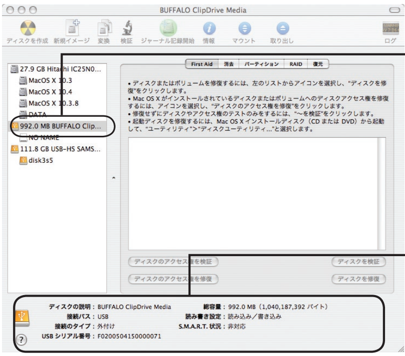
**2** **[ アプリケーション ] フォルダの中の [ ユーティリティ ] フォルダを開きます。**

**3**




［ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。
［ディスクユーティリティ］が起動します。

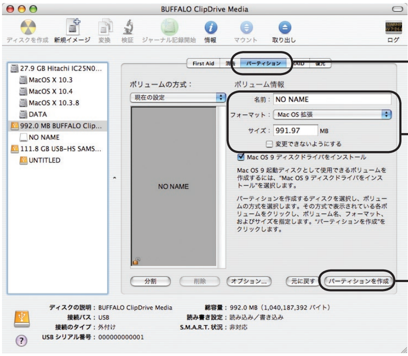
**4**




①フォーマットするディスクをクリックします。

②フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

**5**




①［パーティション］をクリックします。

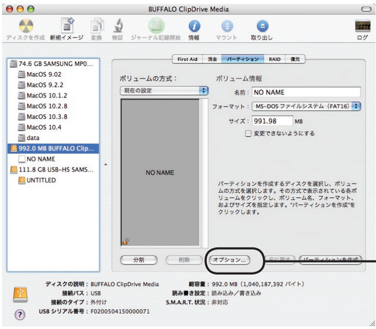
②ボリューム情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張 ] を選択してください。

③［パーティションを作成］をクリックします。

### ボリューム情報を設定できないときは？（Mac OS X 10.4 以降のみ）

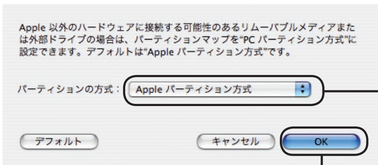
以下の手順で、パーティション方式を Apple パーティション方式に変更します。

**1**




[オプション] をクリックします。

**2**




①［Apple パーティション方式］を選択します。

②［OK］をクリックします。

**6**




[パーティション]をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

# 5 付録

## バックアップ

### バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
バックアップを行えば、同じデータが複数のメディア（ハードディスクなど）に保存されます。そのため、万が一、1 つのメディアに保存したデータが破損・消失した場合でも、他のメディアから破損・消失したデータを復元することができます。

⚠注意 **ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。**

### バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

・DVD-R/RW　・DVD+R/RW　・DVD-RAM　・CD-R/RW
・光磁気ディスク（MO）　・増設ハードディスク　・ネットワーク（LAN）サーバ

可能な限り DVD-R など容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

メモ **Windows98 付属のバックアップツールを使って、MO にデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計が MO ディスクの空き容量を超えないようにしてください（Windows98 付属のバックアップツールの仕様です）。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MO ディスクの空き容量に納まるようにしてください。**

### バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

# メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

## ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windows には､ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

**メモ**
- **エラーのチェック方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Windows98SE/98 にて 130GB 以上の本製品を出荷時状態でお使いの場合､スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します (Windows98SE/98 の仕様です )。スキャンディスクを実行する必要がある場合は、1 パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。**
- **Macintosh には、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。**

## ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを､最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると､ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

**メモ**
- **最適化の方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Macintosh には、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。**

# 特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

**※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。**

# 仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

| | | |
|---|---|---|
| 準拠規格 | | USB Specification Rev2.0、<br>IEEE 1394-1995 規格、 IEEE 1394a-2000 規格 |
| 転送速度 | | 最大 480Mbps（USB2.0）（※ 1)、最大 12Mbps（USB1.1）、<br>最大 400Mbps（IEEE1394a） |
| コネクタ | | USB：　　USB コネクタ シリーズ B × 1<br>IEEE1394：4 ピンコネクタ× 1、6 ピンコネクタ× 1 |
| セクタ容量 | | 512Bytes |
| シークタイム | | 最大 11msec |
| 出荷時フォーマット形式 | | FAT32(1 パーティション ) |
| 外形寸法 | | 45(W) × 163(H) × 200(D)mm（突起物含まず） |
| 消費電力 | | 最大 25W、平均 17W |
| 電源 | | AC100V、50/60Hz |
| 動作環境 | 温度 | 5 ～ 35℃ |
| | 湿度 | 20 ～ 80%( 結露なきこと ) |
| 対応機種 | | USB コネクタを標準搭載する次のパソコン<br>・DOS/V 機（OADG 仕様）<br>・Apple 製 Macintosh G3/G4/G5( ※ 2)<br>弊社製 USB ボード ( 別売 ) を搭載した次のパソコン<br>・DOS/V 機 (OADG 仕様 ) |
| 対応 OS | DOS/V 機 | Windows Vista/XP（Media Center Edition を含む）/2000、<br>Windows Server 2003、WindowsMe(Millennium Edition)、<br>Windows98SE(Second Edition)、Windows98（※ 3） |
| | Macintosh（※ 4） | Mac OS 9.1 以降、Mac OS X 10.0.4 以降 |

※ 1 本製品を、USB2.0 で規定されている HS モード（最大転送速度 480Mbps）で使用するには、弊社製 USB2.0 インターフェース（または USB2.0 に対応したパソコン本体）が必要です。

※ 2 iMac DV で本製品を使用する場合は、Mac OS のバージョンが 9.1 である必要があります。

※ 3 Windows98 では、本製品を IEEE1394 コネクタに接続して使用することはできません。

※ 4 USB2.0 で使用するには、Mac OS のバージョンが 10.2.7 以上である必要があります。

HD-HSIU2 シリーズ ユーザーズマニュアル
2007 年 7 月 10 日 初版発行
発行　　株式会社バッファロー